

宣言

「農業・林業・水産業」に再び誇りを！

〜経営の安定と所得の増大を目指して〜

我々自由民主党は、「むら・もり・はま」の力で我が国の明日を切り拓く。

今、世界的な食料逼迫が叫ばれるなか、食料自給力の向上は、現在そして将来の国民にとって喫緊の課題であり、国は、安心して安全な食料を安定的かつ確実に国民に提供していかなければならない。

また、きれいな空気、美しい景観をつくり、生態系を維持し、洪水などの災害から国土を守ってくれる「多面的機能」の恩恵は全国民が享受しているものであるが、農業・林業・水産業が元気に存続することなしには、この機能は発揮できない。

しかし、これらの産業における価格決定は様々な要因の影響を直接に受けるものであり、しかも「多面的機能」についての評価はその価格に織り込まれていない。この結果、これらの産業の従事者の所得は不安定かつ低廉なものとなってしまっている。

そこで、国は、「**全ての農業・林業・水産業の経営に意欲ある従事者に対し経営の安定と所得増大のために直接的な支援**」を実施する必要がある。

また、国は、その他に次のような取組みを行う必要がある。

- ① 本年は、水田フル活用元年であることから、その利用率の向上を図るとともに、早急に耕作放棄地の解消に取り組むこと。
- ② 国産材の需要拡大を図り、日本の豊かな森林を後世代に残すとともに、バイオ燃料としての利用や人類の健康づくりのための機能性食品の開発普及等に取り組むこと。
- ③ 我が国周辺の漁場生産力の向上を図るとともに、収益力の高い水産業を目指して生産体制の改善を図ることにより、国民への水産物供給力の強化に取り組むこと。
- ④ これからは、時代の変化を乗り越えられる者が産業の将来を担うことができる。世界的な不況の中、いずれの産業も更なる経営努力を迫られることになるが、農林水産業においても意欲を持ち、様々な工夫や努力をする者すべてを支援すること。

今こそ、我々は、農林水産業の持つ潜在力を新たな時代に発揮させるための果敢な政策実施を進めていく。国民生活の根幹にかかわる農林水産業の将来を担えるのは確かな実現力を持つ自由民主党以外あり得ない。

我々は、「むら・もり・はま」に対する国民の意識を高め、新たな地方重視社会への時代を切り拓くため、活力あふれる農業・林業・水産業を構築し、誇りある経営の実現に向けて着実に歩を進める。

右、宣言する。

平成二十一年 四月九日

自由民主党